まっかな日記

日輪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
まっかな日記

【Ｎコード】
Ｎ１０３８Ｚ

【作者名】
日輪

【あらすじ】
この話はフィクションです

部屋の掃除をしていた時だった

「おっ、なつかしいなぁ」

部屋で見つけたのは一冊の日記

早速読んでみることにした

7／27

きょうはちこくしたやっぱりいじめられた。けられたりえんぴつをかくされたりしたあしたがっこうをやすむことにしよう

7／28

がっこうをやすむっておかあさんにいったらおこられた。しかたなくいったらやっぱりいじめられたしかもこんどはせんせいもいっしょになっていじめてくる

7／29

きょうがっこうにいったらみんながぼくをむししてくるせんせいも

なにもかもみんなぼくをむししてくるでもぼくにはともだちのたっちゃんがいる。ぼくはそのひはずっとたっちゃんのことをかんがえていたなんでがっこうにこないんだろう？すごくふしぎだはやくこないかなあ、たっちゃん

７／３０

きょうもちこくしたゆうべのうるさかったぱとかーのせいだ。がっこうのなかにはいるとすごくしずかだがっこうのみんながぼくのことをむししたのかとおもったしずかながっこうのなかではあたまがなんかまっしろになったようなきがした。きょうしつのなかにはいると

しらないおじさんがいた

ぼくはぼうぜんとした

だけどおじさんがゆびをさしたさきにはもっとぼうぜんとした

みんなのしたいがころがっていた

おじさんはぼくをゆびさしてこういった

ツギハオマエノバンダ

ぼくのあたまからいろがなくなったみたいだった。きがついたらおじさんのぼくをさしているゆびがじゅうにかわっていた

もうおわりだ

そうおもったしゅんかんぼくのよこをなにかがかすめた

ぼくはまえをむいた

おじさんがまっかになってたおれていた

ぼくはうしろをむいた

たっちゃんがまっかになってたっていた

たっちゃんだいまぼくのまえにいるのはたっちゃんだぼくのともだちのたっちゃんだ

「たっちゃんどうしてたすけてくれたの？」

「ともだちだから」

やっぱりたっちゃんはむしをしないやっぱりぼくのともだちだぼくのほんとうのともだちだ

「それじゃ」

たっちゃんはいきなりきょうしつにひをつけたぼくはあわててそとにでた

ぼくはたっちゃんにありがとうをいえなかったぼくはたっちゃんのさよならをきけなかった

ごめんねたっちゃん

ぼくはそれしかいえなかった

7／31

ぼくはひとりになった

そこで日記はとぎれていた

元気かな・・・たっちゃん

そこにはなにもかもがひとつしかなかった

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n1038z/

まっかな日記

2011年12月3日22時50分発行